

平成29年度（1）初任者研修に関する調査

種別	(1)-C 勤務校における研修	対象	指導教員	校種番号	1小	2中	3高	4特
----	-----------------	----	------	------	----	----	----	----

※ 回答はすべて、「回答シート(1)-C」に入力してください。（数字は全て半角で入力）

※ 指導教員が複数いる場合は、協議の上、代表者（1名）が回答してください。

設問1 学級運営

学級運営に関する研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

 

- 1 学級運営のねらいと学級運営案の作成
- 2 学級担任としての一日の仕事
- 3 学級集団・人間関係づくりの方法
- 4 児童生徒理解・信頼関係づくりの方法
- 5 望ましい学習習慣・生活習慣の定着を図る方法
- 6 健康・安全指導の方法
- 7 教室環境の整備の仕方
- 8 学級事務処理の方法  
(通知表・指導要録等諸帳簿の記入等)
- 9 家庭との連携の仕方

設問2 教科指導

教科指導に関する研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

 

- 1 年間指導計画の作成の仕方
- 2 学習指導案の作成の仕方
- 3 教材研究の進め方
- 4 児童生徒の実態把握の仕方
- 5 授業展開や学習形態の工夫、発問、板書、ノート指導の仕方
- 6 教材・教具、資料、ICT機器の活用の仕方
- 7 生徒指導の機能を生かした教科指導の在り方
- 8 学習規律の確立のさせ方
- 9 児童生徒相互の関わらせ方
- 10 個に応じた支援の在り方
- 11 評価の方法と指導の改善

設問3 道徳の時間（※小・中学校のみ回答）

(1) 道徳の時間に関する研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

 

- 1 道徳の時間のねらい
- 2 全体計画、年間指導計画の作成の仕方
- 3 学習指導案の作成の仕方
- 4 児童生徒の実態把握の仕方
- 5 資料の価値の捉え方と活用の仕方
- 6 授業展開の仕方と発問、板書の工夫
- 7 「わたしたちの道徳」の活用の仕方
- 8 道徳的実践力の育成につながる体験的な活動の工夫
- 9 「道徳の時間」以外の時間における道徳教育の在り方
- 10 評価の方法と指導の改善

(2) 教科化に向けて取り組んだことがあれば、書いてください。

設問4 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間に関する研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

 

- 1 総合的な学習の時間のねらい
- 2 全体計画、年間指導計画の作成の仕方
- 3 単元計画の作成の仕方
- 4 学習指導案の作成の仕方
- 5 児童生徒の実態把握の仕方
- 6 学習過程<sup>\*1</sup>に応じた指導の仕方
- 7 評価の方法と指導の改善

\*1 学習過程とは、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を指します。

### 設問5 特別活動

特別活動に関する研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

- 1 特別活動のねらい
- 2 年間指導計画の作成の仕方
- 3 学習指導案の作成の仕方
- 4 児童生徒の実態把握の仕方
- 5 学級（ホームルーム）活動の指導の仕方
- 6 話し合い活動の指導の仕方
- 7 児童会・生徒会活動の組織づくりや運営の仕方
- 8 集会活動の計画や実施の仕方
- 9 学校行事の計画や運営の仕方
- 10 評価の方法と指導の改善

### 設問6 生徒指導

生徒指導に関する研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

- 1 生徒指導の意義
- 2 児童生徒の理解の仕方
- 3 人間関係づくりの方法
- 4 基本的な生活習慣の定着を図る方法
- 5 いじめに対する指導の仕方
- 6 不登校に対する指導の仕方
- 7 問題行動の早期発見・早期対応の仕方
- 8 カウンセリングの意義
- 9 教育相談の仕方
- 10 校内指導体制づくりと専門機関等との連携の図り方
- 11 家庭や地域との連携の図り方

### 設問7 その他

設問1～6の内容の他に、勤務校における研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

「11 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に書いてください。

- 1 教員としての基礎的素養
- 2 教育課程
- 3 キャリア教育
- 4 健康・安全の指導
- 5 特別支援教育
- 6 人権教育
- 7 情報教育
- 8 学校行事等の企画・運営
- 9 外国語活動（小・特）
- 10 部活動指導（中・高・特）
- 11 その他

### 設問8 自立活動（※特別支援学校のみ回答）

自立活動に関する研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

- 1 自立活動のねらい
- 2 指導計画（年間・単元等）の作成の仕方
- 3 個別の指導計画の作成の仕方
- 4 児童生徒の実態把握の仕方
- 5 学習指導案の作成の仕方
- 6 指導目標の設定や指導内容
- 7 指導方法の創意工夫
- 8 教師の協力体制
- 9 評価の方法と指導の改善
- 10 専門機関等との連携の図り方

設問9 各教科等を合わせた指導

(※特別支援学校のみ回答)

各教科等を合わせた指導に関する研修として、重視したものを二つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

- 1 各教科等を合わせた指導の意義
- 2 年間指導計画の作成の仕方
- 3 教材研究の進め方
- 4 児童生徒の実態把握の仕方
- 5 学習指導案の作成の仕方
- 6 授業展開や学習形態の工夫、発問、板書、ノート指導の仕方
- 7 教材・教具、資料、ICT機器の活用の仕方
- 8 児童生徒相互の関わらせ方
- 9 個に応じた支援の在り方
- 10 評価の方法と指導の改善

設問10 初任者研修の直接指導時間

直接指導時間は、週時程内<sup>\*2</sup>でどの程度実施できましたか。一つ選んで、回答欄に番号を入力してください。

- 1 90%以上実施できた。
- 2 80%以上(90%未満)実施できた。
- 3 80%未満の実施だった。

<sup>\*2</sup> 週時程内には、児童・生徒が下校した後の放課後を含まない。

設問11 全校体制で行う初任者研修

拠点校指導教員(小・中・特)・非常勤講師(小・中)と校内指導教員、校内指導教員とその他の教員との連携について、特に配慮したことや効果をあげた例があれば、具体的に書いてください。

設問12 勤務校における研修

今年度の「勤務校における研修」について、2年目以降も引き続き研修すべきだと思う研修を三つ選び、回答欄に番号を入力してください。

- 1 学級運営
- 2 教科指導
- 3 道徳の時間 (小・中)
- 4 総合的な学習の時間
- 5 特別活動
- 6 自立活動 (特)
- 7 生徒指導
- 8 教員としての基礎的素養
- 9 教育課程
- 10 キャリア教育
- 11 健康・安全の指導
- 12 特別支援教育
- 13 人権教育
- 14 情報教育
- 15 学校行事等の企画・運営
- 16 外国語活動 (小・特)
- 17 部活動指導 (中・高・特)